

面接試験（個別面接用・口頭試問用）

学部学科（課程）名等

情報学部 情報社会学科

選抜区分	学校推薦型選抜【共通テストを課す】（令和4年度）
面接員数	3人
面接時間	約20分（受験生1人に対して）
主な質問内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 志望動機、興味、関心 2. 情報社会学科の研究・教育内容について事前に調べたか（Web、MOVE、学部説明会、等） 3. どういう勉強をどのようにしたいか（内容面と方法面） 4. 卒業後の進路希望 5. 「ミニ講義」（情報社会学科教員による「ミニ講義」）の内容についての理解と、それに対する見解について <p>ミニ講義</p> <p>（タイトル）ことばは何を伝えるか？</p> <p>（ねらい）言語コミュニケーションを題材にして、受験生の理解力、論理的思考力、課題発見力を精査することが本講義の目的である。</p> <p>（概要）本講義では、言語コミュニケーションのモデルを提示し、そのモデルにおける「伝達内容」と「言語表現」に着目することで、「言語表現」が伝えるもの、また、「文字通りの意味」とは何かについて考察した。さらに、「文字通りの意味」とは何かという考察においては、協調の原理における質の格率についても触れた。</p> <p>本講義では、考察を通じて、伝達内容は真理条件であること、聞き手は協調の原理を前提として真理条件が満たされている（我々が直感的に感じる「文字通りの意味」を理解する）ものと理解すること、聞き手は「文字通りの意味」と文脈の情報をあわせて発話の「効果」を理解すること、などを示した。</p> <p>（質問）</p>

- (1) 文字通りの意味と発話の効果が異なることを、これまでに実感したことはありますか？
- (2) 講義で示された言語コミュニケーションのモデルに足りない点は、どんなところだと思いますか？
- (3) 今日の講義を踏まえて、これからコミュニケーションを行う際に何に気をつけたいと感じましたか？